

2005年3月期 第1期決算について

1. 経営環境

- 発着回数、旅客数、貨物量、給油量すべて過去最高を記録
旅客数は初めての3,000万人の大台を突破

2. 連結決算のポイント

- NAAと子会社17社、関連会社1社との初の連結決算
- 経営状況
 - 営業収益1,715億円、経常利益295億円、固定資産の減損会計の早期適用による損失(90億円)、法人税等(128億円)などを差し引いた当期純利益は64億円
 - 連単倍率は、営業収益1.06倍、経常利益1.02倍、当期純利益0.89倍
- セグメント別状況
 - 空港運営事業
 - SARS等の影響はなく、景気回復とあいまって空港運営も順調に推移
 - 営業収益1,201億円、営業利益198億円
 - 空港スペース活用事業
 - (株)NAAリテイリングを昨年5月26日に設立。初年度売上高28億円を計上
 - 営業収益500億円、営業利益224億円
 - その他事業
 - 芝山鉄道(株)の運営する鉄道事業の利用客が低調だったほか、成田高速鉄道アクセス(株)については営業開始前
 - 営業収益13億円、営業損失4億円
- キャッシュフローの状況
 - フリー・キャッシュ・フローとして321億円を計上

3. 単体決算のポイント

- 経営状況
 - 営業収益1,625億円(計画比+63億円、+4%)、経常利益290億円(計画比+72億円、+33%)、固定資産の減損会計の早期適用による損失(68億円)、法人税等(117億円)などを差し引いた当期純利益は72億円(計画比29%)
 - 契約の見直し等により、対2002年度49億円(11%)の経費削減を実施うち、年間委託契約については、対2002年度31億円(10%)を削減